

## 「すみません」の社会言語学的考察

小川 治子

### 要 旨

日本語の感謝とわびの「定式表現」には、「ありがとう」「ごめんなさい」のような典型的な表現のほかに「すみません」のように感謝にもわびにも使うことのできる表現がある。

本稿では、感謝の「すみません」の使用制約と使用場面の世代差を調査し、さらに「すみません」の機能の分析を試みた。

感謝の「すみません」は、使えない場面があるが、若い世代の軽い感謝のことばとして、目上やソトの人に多用される。逆に上の世代では、目下や友達（ウチ）に対して使われる傾向がある。

「すみません」は感謝やわびに使われるだけでなく、話の場づくり、話題づくり、さらに会話を円滑にすすめる機能をもっている。

[キーワード] 定式表現 すみません 使用制約 世代差 機能

### はじめに

定式表現 (Formulaic Speech) は、特定のコミュニケーション目的と密接に結び付いていることから初期の段階の学習者のコミュニケーション能力を最大限に発揮させ、学習の負担を軽減する働きがあり、Creative Speechの基礎になるといわれている。<sup>1)</sup>

日本語学習者にとっても定式表現を適切に使うことは、コミュニケーション上重要な意味をもつ。ところが、日本語ではわびの表現「すみません」が感謝にも使われることを奇異に感じる学習者が多い。また、「すみません」が様々な場面で使われていることから、日本人はいつも謝っているように見えるという感想をもつ学習者もいる。このことから母語話者の「すみません」使用の実態を明らかにし、「すみません」の機能の考察を試みる。

## I 先行研究の概略および本研究の仮説

### 1) 「すみません」の使用制約について

佐久間(1983)は「『すみません』は今や最も一般的な、軽い感謝の表現といえよう。」とし、しかし「ご婚約おめでとう!」と言われたりした場合には「すみません」と応えることはない」と述べ、その理由として「同じ感謝の表現ではあっても『喜び』の気持の表明に重きが置かれる場合には『喜び』を基底にもつ『ありがとうございます』の代わりに、『すみません』を使うことができない。」と述べている。

熊取谷(1990)は「感謝の場面で『すみません』を使用する現象を『感謝の表現交替現象』と呼ぶことにする。」とし、交替現象は丁寧行動の方策の一種として機能するものであり、「話し手にとっての快適状況」を「聞き手にとっての不快状況」と解釈する操作であり、「状況転換」により生じると述べている。さらに「状況転換」に対する制約として、次の二つを上げている。

「共感」制約 快適状況が共感型の発話行為から成るとき状況転換の方策は適用しない。

「(社会的)役割期待」制約 快適状況を形成する行動が社会的役割が規定する役割期待の一部であると話し手が判断するとき状況転換の方策は適用しない。

### 2) 「すみません」の使用の世代差について

水谷(1988)は「一般に女性は男性より『すみません』を使う可能性が高い。他の表現もそうであるが、この場合にも世代による違いがある。若い人は『ありがとう(ございます)』を、年長の方は『すみません』を多く用いる。」と述べている。

本論文では先行研究を踏まえて、次の二つの仮説をたて、これを検証するために母語話者の使用実態を調査した。

仮説1 感謝の表現として「すみません」が使えない場合がある。

仮説2 「すみません」の使用には世代差がある。

## II 母語話者の「すみません」使用の実態調査

使用の実態を把握する方法として、アンケート調査を行うことにした。アンケート調査は、実態を必ずしも完全に表すものではないが、回答者の意識を知ることができる。また、条件のそろった回答者から短時間で多数のデータを集めることができることから、この方法をとることにした。

アンケート回答者の条件として①各世代を集めることができること

②知的、教育的レベルがそろっていること

③方言の影響をあまり強く受けていないこと

を考慮した。本研究では世代差調査の中心を女性におき、男性はその比較において考察する。

### 1 社会人女性の調査

#### 〈調査概要〉

①対象 80代-25名 70代-33名 60代-39名 50代-40名 40代-35名  
30代-32名 20代-17名 合計-221名

②期間 1992年7月～8月

③内容 アンケート項目は、上下、ウチ、ソト、親疎<sup>2)</sup>の関係による、使用表現の差が明らかになるように配慮し、感謝19項目、わび9項目を作成した。

各項目について、例示された感謝、わびの定式表現各16の中で一番よく使う表現を選んでもらう。適当な表現がない場合は、自分で書いてもらう。<sup>3)</sup>

#### 〈調査結果〉

①感謝の「すみません」の使用制約について

先生の研究室で、個人的に、指導を受けました。先生が「今日はここまでで終わりましょう」と言われました。その時、あなたは何と言いますか。

この項目については年代に関係なく、回答数216（回答なし4、その他1）のうち214が「ありがとうございました、どうもありがとうございました」を選択し「どうもすみませんでした」「おかげさまで」が1例ずつ見られたほかは「すみません」<sup>4)</sup>は選択されなかった。

熊取谷(1990)は、「状況転換」に対する制約として、「悔やみ」「誉め」「励まし」「安全を祈る」を示す発話行為（共感型発話行為）は快適状況を形成していることから、「すみません」がこれらの発話行為そのものに対して用いられると不適切になるとし、「すみません」の使用が適切となるためには、発話行為に先行する何らかの実質行動がなければならないとしている。〔共感制約〕

さらに、状況転換の方策が適用されない実質行動は典型的に「店員-客」「車掌-乗客」のような明確な社会的役割が規定する場面で生じるとしている。

〔役割期待制約〕

上の例は感謝の表現交替現象の起こらない場面（状況転換の不適用）ということができる。仮説1が検証されたことになる。

〔共感制約〕ではなく、〔役割期待制約〕で説明することもできないこともないが、もっと別の制約があるのではないかと考えられる。このことについてはIV まとめで述べる。

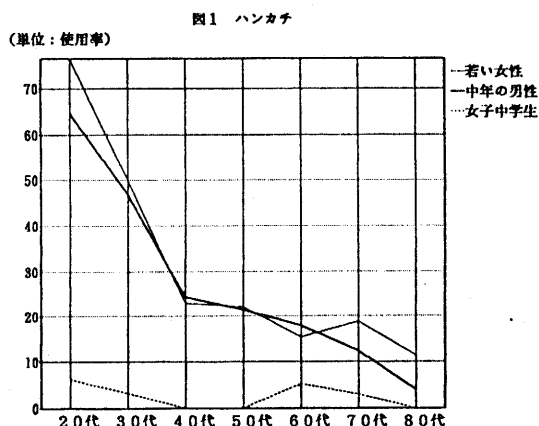
## ②感謝の「すみません」使用の世代差について

道を歩いていて、うっかりしてハンカチを落としました。

近くにいた若い女性が「ハンカチ落しましたよ」と、教えてくれました。  
 中年の男性が「ハンカチ落しましたよ」と、教えてくれました。その時、あなたは  
 女子中学生が「ハンカチ落しましたよ」と、教えてくれました。その時、あなたは  
 何といたしますか。

この項目について、「すみません」を選択した人の割合を、世代別に表したのが図1である。これによると20代で、同年代の女性、上の年代の男性に対して77%、65%と多用される。同じ相手に対して、30代40代と年代が上がるにつれて使用率が漸減する。

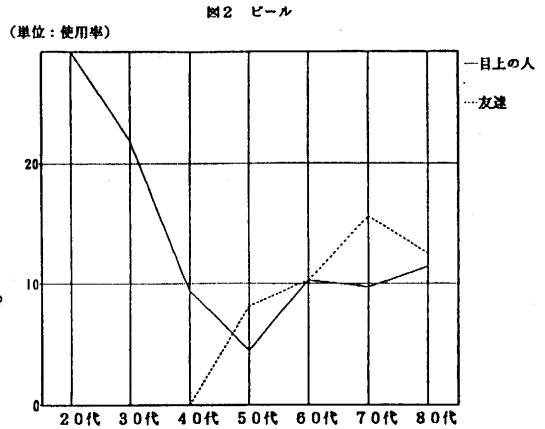
下の年代の中学生に対してはほとんど使われない。



パーティーで「目上の方が」ビールを注いでくれました。  
 「友達が」その時あなたは何と言いますか。

「すみません」の使用率を図2  
 によって見ると、目上の人に対して  
 20代では30%弱であるが、年代があ  
 がるにつれて漸減し、50代で4.5%  
 と最も少なくなる。

友達に対して、2、3、40代では全く  
 使われないが、5、6、70代で漸増する。



「友達が、」あなたの家にたずねてきました。  
 「年上の知人が、」  
 てみやげを出して、友達：これつまらないものだけど、どうぞ。あなた：  
 知人：これつまらないものですが、どうぞ。あなた：  
 足をくじいたので、つえをついて、電車に乗っていました。

「中年の男性が」  
 「女子中学生が」席を譲ってくれました。あなたは何と言いますか。

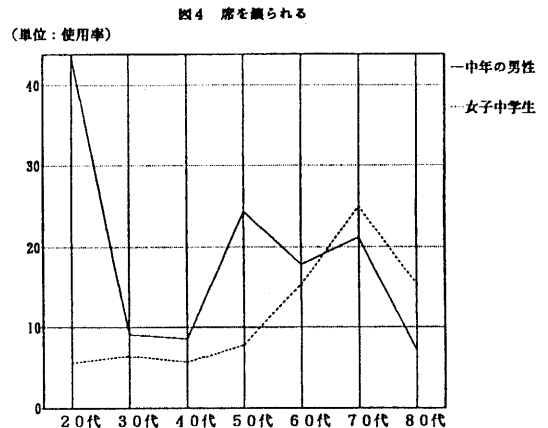
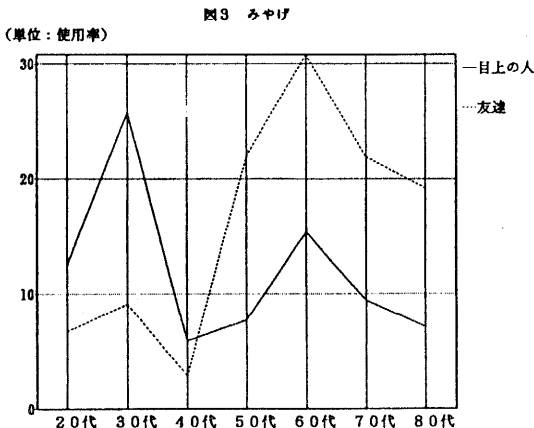


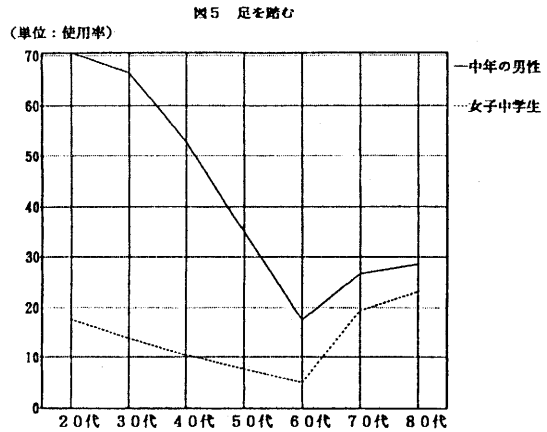
図3、4、からも「すみません」の使用には世代差があることが読み取れる。  
 すなわち2、30代では感謝の「すみません」を目上や同年代の知らない人に対する  
 軽い感謝の表現として用いるが、友達や年下に対してはあまり使わない。  
 逆に上の世代では、主として目下や友達に対して使われる。

③わびの「すみません」使用の世代差について

電車の中で、中年の男性の足を踏んでしまいました。あなたは何と言いますか。  
女子中学生の

図5によると、足を踏んでわびる場合は目上に対して、若い世代の使用が65%をこえるが60代の17%まで漸減し、その後また増える。下の世代に対する使用率は、各世代ともに相対的に低い。

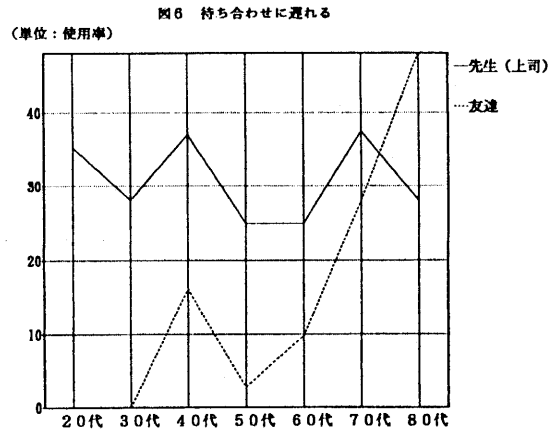
これは相手に対するわびの気持ちがあまり強くないものの例ということが出来る。



先生（または上司）と、 駅で待ち合わせをしましたが、5分遅れてしま  
友達と、 いました。  
 あなたは何と言いますか。

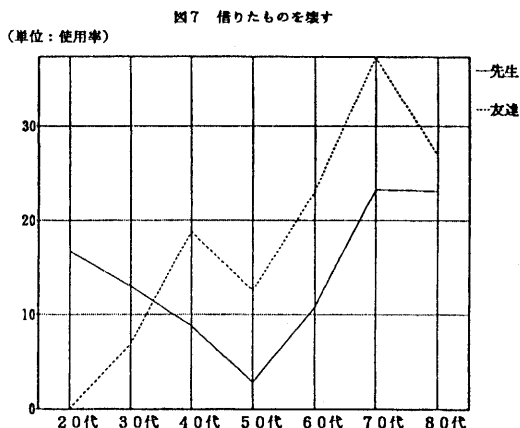
図6によると、待ち合わせに遅れてわびる場合、目上の先生や上司に対しては、「すみません」の使用に、はっきりとした世代差は読み取れない。

しかし、友達に対しては2、30代では全く使われず、上の世代で使われることがわかる。



先生に 貸してもらったビデオカメラをこわしてしまいました。先生に  
友達に 友達に  
 返すときにあなたは何と言いますか。

図7では2、30代とそれ以後の世代で相手によって「すみません」の使用率が逆転することが目につく。この場合はかなり高価なものを壊してしまったことから「すみません」ではすまないということで「申し訳ありません」の使用が80%を越える世代が多くなる。しかし、友達に対しては上の世代で「すみません」が相対的に多く使われる。



わびの「すみません」は、軽いわびについては目上に対して若い世代で多く使われる。わびの程度が重くなるにつれて、全世代で「申し訳ありません」が目上に使われ、「すみません」は上の世代で目下に対して使われる。

②③の結果から仮説2が検証された。

「すみません」の使用には、相手との関係(上下、ウチ、ソト、親疎)、事柄の軽重がかかわり、さらに世代によって使われ方が異なることが明らかになった。

## 2 社会人男性の調査

### 〈調査概要〉

①対象 60代-8名 50代-8名 40代-7名 30代-15名 20代-13名  
合計-51名

②期間 1992年8月~10月 ③内容 社会人女性の調査と同じ

### 〈調査結果〉

①感謝の「すみません」の使用制約について

先生の個人指導の場面で、51名に「すみません」の使用は0で男女差は見られない。

②感謝とわびの「すみません」使用の世代差について

どの項目についても、感謝の表現には男女差は見られない。わびの表現については友達や目下に対する表現にわずかながら差が見られる。

①②ともに、男女差に顕著なものはない。<sup>5)</sup>

### Ⅲ 談話資料から見た「すみません」の機能の分析

「すみません」は感謝にもわびにも使われる定式表現であり、相手の負担に対する配慮を表すことによって自分の気持ちを表す表現である。調査結果によれば、わびの表現として使われることの方が多いが、若い世代にとっては、目上やソトの人に使える、安全な軽い感謝の表現として機能している。

機能という点から見ると、「すみません」には、わびと感謝を表すほかに見過ごすことができない重要な機能があると考えられる。実際場面で使われている「すみません」の用例集めをしてみると、それがよくわかる。

◇バス停で 客 : すみません。 ○○病院行きますか。

運転手: (黙ってうなづく。)

◇走りだしかけているバスに向かって 客: すみませーん。

◇スーパーで 客 : すみませんけど、あれ取ってください。

店員 : これですか。

これらのわびや感謝以外の機能が、「すみません」の機能全体の中でどのような割合を占めるかを検証するために、次の談話資料を使うことにした。

『主婦の一週間の談話資料・解説・本文篇、索引篇』 編者 井出祥子他

この資料について、概要の一部を引用する。

本談話資料は、昭和57年8月中の一週間にわたり、東京近郊(小田急線沿線)在住の一サラリーマン家庭(カワカミ家)の主婦を中心として、その周囲の言語的接触のある人々との間の会話を録音したものを、文字化したものである。(中略)尚、本談話資料中の中心的発話者であるカワカミ夫人は、中流サラリーマン家庭の主婦であり、大学4年生と高校3年生の2人の娘がおり、次女の高校のPTA役員をつとめ、また、2つの教室で教える料理の先生でもあり、49歳である。

この資料は、現代のことは使用の実態を示す数少ない資料の一つであり、信頼性の高いものである。この中に記録されている「すみません」と「すいません」併せて49のデータから、「すみません」の機能の分析をしたい。

索引によれば、「すいません」=42 「すみません」=7が集録されている。(ここでは「すいません」と「すみません」は同じ表現として扱う。)



49の使用例をわびに使われているものと、感謝に使われているものとは分類することを試みたところ、わびと感謝を同時に表して、どちらとも判断できないものがあることが分かった。その他に会話<sup>9)</sup>の始めの部分で、呼びかけや、依頼の前置きとして使われているものもあること、さらに一つながりの会話の中で、会話をすすめるような働きをしているものもあることが分かった。上記の資料にある49の用例を分類してみると次のようになる。

わび	感謝	わびと感謝	呼びかけ・前置き	会話をすすめる
16	10	7	10	6

「すみません、すいません」は明らかにわびや感謝を表す機能のほかに、会話を始めたり、円滑にすすめる機能をもっていることがわかる。

ここで、「すみません」が、会話を円滑に行うためにに使われている一例をあげる。(原文はカタカナで表記されている。数字は原文の発話番号)

512001 A:川上でございます

512101 B:松田でございますが

512201 A:はあ はあ

512301 B:すみません

512401 A:いいえ

512501 B:あのー いま一応あたくし もう一度見ましたところ

512601 A:はい

512701 B:あの F組のに枚数だけは分かっております

512801 A:そうでございますか

[電話 A/川上夫人とB/P T A役員との会話]

#### IV まとめ

感謝とわびの「すみません」使用の実態と「すみません」の機能について述べてきた。

感謝を表す「すみません」の使用には制限があり、使えない場面がある。

感謝の「すみません」は若い世代では、目上やソトの人に多用される。逆に上の世代では、目下や友達(ウチ)に対して使われる傾向がある。

わびについては、若い世代で目上に対する軽いわびに多用されるが、わびの

程度が重くなるにつれて「すみません」よりも「申し訳ありません」が使われる。この場合「すみません」は上の世代で目下に使われる。

感謝の「すみません」については、永野賢(1969)は昭和15、6年ごろから使われ始めたとし、奥山益朗(1981)<sup>7)</sup>は戦後に盛んに使われるようになったとしている。

主としてわびの表現として、自分の気持ちが「済まない」「申し訳ない、いいわけのしようがない」ことを表していたものが、相手の負担に対してわびることによって、そのまま感謝の表現として使われるようになったものと考えられる。現在は、まだ変化の過程にあり、世代間に使用の実態に差がある。

感謝の「すみません」によって日本語の感謝とわびは対立する二つの概念ではなく、一つの連続体として存在すると考えることができる。感謝の「すみません」を中間部分とし、一方の極に「すみません」では表すことができない典型的な感謝の表現があると考えられる。これが感謝の「すみません」の使用制約のある部分である。

「すみません」の機能を考えると、単にわびや感謝を表すだけでなく、水谷(1980)で既に指摘されているとおり、ディスコース・ユニットの基本的な構成要素として、話の場づくり、話題づくりの機能をもっていることが明らかになった。更に、会話の途中で会話を円滑にすすめる機能をもっていることも観察された。

小論では定式表現の「すみません」に焦点を合わせ、母語話者の使用実態の調査結果を中心に論をすすめてきた。Ellis, R. (1986)が指摘しているとおり初期の学習者にとって、このような表現を適切に使うことは、コミュニケーションの手掛かりとして重要な意味をもっている。初期には単なることばの塊として使われていたものが、やがて、微妙な意味や役割をもっていることが理解されるようになる。この点で中上級の学習者にとっても、ことばの背後にある文化や習慣を知り、円滑なコミュニケーションをとるための重要な要素となる。

相手の負担を配慮してわびることによって感謝を表し、話を始めたり、依頼するときにも、相手の立場や感情に配慮することばを盛んに使う。こうした配慮は、日本人の人間関係をよりよくたもつための方策として存在している。

<注>

1) Ellis, R. (1986) "Understanding Second Language Acquisition"

Oxford University Press

2) 上下、ウチ、ソト、親疎の考え方は、国立国語研究所(1990)『敬語教育の基本問題(上)』に基づいている。

3) 調査内容の詳細は、小川治子(1993)『日本語の感謝とわびの表現』お茶の水女子大学大学院

修士論文参照。

右に調査用紙の

一部を掲げる。

「感謝」と「わび」の表現についてのアンケート調査

ここに、感謝の表現のリストがあります。

1 すみません	6 ありがとう	12 申し訳ありません
2 どうもすみません	7 どうもありがとう	13 申し訳ありませんでした
3 すみませんでした	8 ありがとうございます	14 おそれいります
4 どうもすみませんでした	9 どうもありがとうございます	15 おそれいりました
5 どうも	10 ありがとうございます	16 おかげさまで
	11 どうもありがとうございました	

次のような場面(1)～(19)で、あなたは、どんな表現を使いますか。一番よく使う表現を選んで、上のリストの番号で答えてください。同じものを何回使ってもかまいません。あなたが、その場面にいるつもりになって答えてください。そういう場面に自分がいる可能性がないと思われる場合は、答えないで先に進んでください。

もし、リストにない表現を使うと思ったら、その表現を書き入れてください。

何も言わないと思ったら、×を書いてください。

同時に、二つ以上の表現を使う時は、順序がわかるように書いてください。例：7-16

(1) 道を歩いている、うっかりしてハンカチを落としました。近くにいるTシャツを着た若い女性の人が「ハンカチ落とししましたよ」と、教えてくれました。その時、あなたは何と言いますか。\_\_\_\_\_

(2) 道を歩いている、うっかりしてハンカチを落としました。近くにいるちんちんとした服の中年の男性が「ハンカチ落とししましたよ」と、教えてくれました。その時、あなたは何と言いますか。\_\_\_\_\_

4) 調査結果の「すみません」は「どうもすみません」「すみませんでした」「どうもすみませんでした」を含む。

5) 男女差調査の詳細は、小川治子(1993)『日本語の感謝とわびの表現』お茶の水女子大学大学院修士論文参照。

6) ザトラウスキー (1993)『日本語の談話の構造分析』 4.3の定義に従う。

7) 文化庁(1981)『あいさつと言葉』「ことば」シリーズ14 座談会の発言による。

<参考文献>

井出祥子他(1984)『主婦の一週間の談話資料・解説・本文篇・索引篇』

熊取谷哲夫(1990)「日本語の『感謝』における表現交替現象とその社会言語的モデル」 『表現研究』第52号 表現学会

佐久間勝彦(1983)「感謝と詫び」『講座日本語の表現 3』 筑摩書房

永野 賢 (1969)『にっぽん語風俗学』 明治書院

水谷修 信子(1988)『外国人の疑問に答える日本語ノート 1』ジャパントタイムズ

水谷 信子(1980)「話しことばの文法の総合的考察」『米加十一大学紀要 3』

(A T C E 語学専門学院)